

高田

本山

だより

100



本山だより

百号に寄せて

法主 常磐井 慈祥

長年にわたって本山専修寺の広報誌として、皆様に親しまれてきた『本山だより』がついに百号を迎えるとのこと、本当に喜ばしいことです。しかも、十七年目ぶりの一光三尊仏御開扉中の百号到達はなおさらありがたいことではないでしょうか。長年、編集および執筆の労を取られた方々に心から感謝申し上げます。『本山だより』の内容は、本山専修寺の行事、歴史、文化財等、多岐にわたりますが、多くの方々が本山専修寺に親しみと理解を深めてくれたであろうことは疑いを容れません。

専修寺は今さら言うまでもなく、ご開山聖人ご真筆の法宝物を初め、数百点にもおよび国宝・重文指定の聖教・文書、十三棟におよぶ重文指定建造物が立ち並ぶ壮大な伽藍を保持する東海地方随一の名刹です。『本山だより』が今後もそのような専修寺と高田派の魅力をより身近に伝えてくれることを念願しています。そこから、高田のお念仏の輪も広がるに違いありません。



前法主 常磐井 鸞猷

〱本山だより〱が発刊されて百号を迎えるとのこと、あたかも一光三尊佛が本山御逗留の折、この喜びを迎えますことを心から有り難く存じます。

〱本山だより〱は本山と各寺院住職及び檀信徒との声の交換の場として設けられて参りました。

私はかねがね寺院の機能は、①聞法のための集会所であること。②悩みに応える相談所であること。③現代の一流の文化を発信する場であること、の三つにあることを申し続けて参りました。

この〱本山だより〱もその一助として一層の進展を遂げて下さるよう願って祝辞と致します。

本山だより 100号に 寄せて

宗務総長 安藤 光淵

本山の四季にあわせて、年に四度発行し、その時々情報をお届けしてきた「本山だより」が百号を迎えました。檀信徒から親しまれる読み物として、編集には、工夫を凝らし、また時々行事の写真などを掲載し、本山の近況を紹介することにも配慮してきました。

「お参りしてよかった」と言われるような本山を、育て上げていくこと、それを伝統にいたしたいものと、大きな希望をもって今回の編集に当りました。

一身田寺内町を持つ高田本山は京都・奈良を除けば、地方では最大規模の重要文化財建造物を所有する寺院であります。この誇りを持って、京都・奈良に負けないように、PRにつとめ、多くの参詣者を迎えたいものと思っております。

楽しい読み物として読んでいただくように、皆さんからの声を反映し、各位に響くような内容を掲載したいものと思っております。

創刊以来、檀信徒と本山を結ぶ架け橋の役目を担ってきた「高田本山だより」が百号に達したことは、誠に喜ばしいことです。この間、多くのスタッフが様々な工夫を凝らして編集内容を見直し、先達から継承することと新たに企画することを織り交ぜて、より良い〱便り〱をお届け出来るよう努力してまいります。

前々門様の御染筆の題字と、御祝辞を掲げて、高田本山だよりが発刊して三十年と伺います。試みに百号に及ぶファイルを手にしなすと、その重さと厚みは老いた手には余ります。

頁を繰ると高田山の諸堂伽藍の再興の歩みが一覽できます。なつれを宗務院の職員の方たちが、次々と引き継いで作成して来たことに深い意味があると思います。編集、完成、大わらわの発送。待ち受ける各地のお寺、御門徒の一人一人の手にわたるまで、お念仏の波頭は広がって行きます。皆様ありがとうございます。

大裏方 常磐井 和子

総務 鈴木 紀生



# 高田本山だより 祝100号 おめでとうございます

御本山御用達

## 鍵長法衣仏具店

京都市下京区油小路正面東入（中央局区内）  
電話 (075)371-0854・8181~2番  
FAX (075)344-2701番  
振替口座・01070-3-972番 郵便番号600-8344

御本山御用達



### 井筒法衣店

〒600-8503  
京都市下京区堀川通新花屋町角（西本願寺前）  
フリーダイヤル TEL 0120-075-720  
フリーダイヤル FAX 0120-075-490



高田本山御用達  
三重県仏教会御推薦

石碑  
記念碑  
燈籠



高級御影石専門店

### 御影石材(株)

〈石に御用の方は〉 インニョヨ  
☎0120-142540

本店 津市広明町(影見寺門前)  
☎059-224-1700(代)



仏壇・仏具  
ぬし与

ホーオーが目印！

### 六代目 (株)ぬし与仏壇店

桑名本店・四日市店・蟹江店・桑名メモリアルパーク

お墓  
寺標  
墓地移転  
霊園開発造成

高田本山御用達  
全国優良石材店・認定店

創業110余年



### 株式会社 ストーンズ 石仙

(旧(有)山本石材店)

ミナ ヨイシ  
☎0120-67-4114

四日市市近鉄阿倉川駅前 ☎059-331-4114

### 京仏壇京仏具・ご本堂内装 お仏具ご修復・お納骨壇

高田本山御用達



### 京仏具 小堀

http://www.kobori.co.jp/  
本店/京都市下京区烏丸通正面上 ☎(075)341-4121(代)  
東京店・練馬店・福岡店・札幌店・小堀京仏具工房

無料進呈！ お役に立てて下さい

◆成功談と失敗談に学ぶ 新築・改築のノウハウ「100のヒント」  
お申し込みはこちらから ☎(本店)0120-27-9595 (受付時間9:00~18:00)

林 智康 著  
顕浄土真実信文類講讃  
本体7000円＋税

深川 宣暢 著  
撰取の法  
—すくいのみのり—  
本体1800円＋税

制作 子供の心を育てる会  
ことわざカルタ  
(小学生・幼稚園年長児用)  
本体952円＋税

制作 仏の子を育てる会  
いきいきカルタ  
(小学生・幼稚園年長児用)  
本体952円＋税

600 8342  
京都市下京区花屋町西洞院西入  
永田文昌堂  
電話 075-371-6666  
FAX 075-371-9033  
振替 0150-200-4903361

世の中安穏なれ 仏法ひろまれ

絵所頭 安川如風

ごほんぜんえどころ  
にょふう

社寺建造物彩色、障壁画、仏画、絵伝、頂相画、天井画などの制作と修復・復元承ります。その他石工、木地、漆、箔押、鋳金具など、ご相談下さい。

ものづくりの観点から、あらゆる職種の本物の職人による法物制作のお手伝いをします。

絵所  
〒514-0114 三重県津市一身田町2819  
TEL:059-232-4171 FAX:059-232-1414  
(本山宗務院内 絵所)

# 高田本山の年末年始

## ◆除夜の鐘

12月31日

夜11時30分～12時30分

どなたでも鐘を撞いていただけます。  
暖かい格好をしてお越し下さい。

## ◆修正会

1月1日～3日

晨朝 午前7時より (元旦のみ午前6時30分より)  
御参廟 元旦のみ晨朝後  
日中 午前11時30分より

## ◆報恩講 (お七夜)

1月9日～16日

詳しくはお七夜案内にて

七高僧シリーズ①

## 源信大師 (上)

源信大師 (げんじんだいし) (九四二～一〇一七)

七) は平安中期の天台僧で恵心僧都とも呼ばれていて、日本

で初めて往生浄土の教えをお説きになった方です。親鸞

聖人は、お釈迦様がお説きになったあらゆる教えの中から、念仏一門の流れを継承

された我が国最初の祖師として、源信大師をお選びになりました。

源信大師は天慶五年(九四二)に大和国葛城郡の当麻(現

奈良県の葛城市) に生まれま

した。七歳で父と死別し、信

仰心篤い母の影響により、十三歳で比叡山延暦寺の慈慧大師良源を師として出家しました。

比叡山でめきめきと学徳を

たかめ、天曆十年(九五六)十五歳のとき、その学識をたたえられて、村上天皇から褒美として贈られた布帛(織物)などの品々を、喜んで

らおうと故郷の母に送られました。ところ

ぎすて、真の仏道を求め、

この私を救うて下さい」ときびしい叱責の手紙とともに

それらを送り返しました。これまで經典を学び、行を積み、ひたすら仏道を行じてきたつもりが、いつの間にか名利の世界に沈みこんでいた自分を、母の手紙できびしく思

い知らされた源信大師はその後、才能を認められながらも、終始名誉栄達に背を向け、誠実に仏道を歩もうとされたという事です。

やがて源信大師は、三十歳のころ比叡山横川に入り、修道と著述に没頭されました。数ある著書の中でも特に『往生要集』が有名です。全体で十章からなり、特に多くの人々に影響を与えたのが、地獄の凄惨な様子と極楽浄土の淨らかな世界が描き出された章です。

『往生要集』はそれがなければ往生できないもの、その往生になくはならないものは、念仏であるということ、

たくさんの方を引用して説かれていきます。

『正信偈』の「極重悪人唯稱仏」は親鸞聖人が『往生要集』から 源信大師のお言葉を七文字にされたものです。

「極重悪人」を己のことと自覚され、悪人でもたすかるのではなく、悪人だからこそ南無阿弥陀仏を称えるしかないのだと詠まれました。

(第三部会)



が母は喜ぶどころか、わが子の心に名利の心めばえを感じ取り「早くこのような名利の衣をぬ

た。数ある著書の中でも特に『往生要集』が有名です。全体で十章からなり、特に多くの人々に影響を与えたのが、地獄の凄惨な様子と極楽浄土の淨らかな世界が描き出された章です。



一日の始まりは晨朝から

この度、ご本山の維那職を拝命いたしました。

維那とは宝鑰(御鍵)を守り、須弥壇上の事を司り、法

会儀式について法主殿を補佐し、諸法会の仏事が滞りなく行われるよう差配する重責を担

ております。ご本山前にある智慧光院、玉保院、慈智院の三箇院が代々維那職についておられる中、その重責の一端を担わせて頂き、大変身の引き締まる思いです。

晨朝では、清浄に荘厳された内陣で、御本



朝、祖師前に御仏飯をお供えする

尊様、御開山聖人様のお厨子の御扉を開かせて頂きます。そして、法主殿の御昇堂、御調声のもと、維那、知堂そして、毎朝欠かさず参詣されるお同行の方々の唱和する声が、堂内に響き渡ります。清々しい空気に包まれた朝のお御堂で、何百年に渡り受け継がれてきた伝統の重みを感じると共に、実りある一日の始まりを実感いたします。

維那 清水谷 亮雅

三尊さま 出開帳

十月二十六日

法雲寺

(三重県鈴鹿市)

大久保町

職が立つ参道を、水干を纏った六人の若者に担がれて、山門から本堂へと進み、御輿の列に檀徒が続く。

引声念仏にあわせていよいよ御開扉。内陣と大間が一体になり念仏が響き、御仏

私のお寺にお迎えして

と同和するような空気に包まれ、皆の顔が柔らかく微笑んでおり、この法会を迎えて良かったと感じた瞬間でした。

思えば過ぎしことですが、

蝉時雨の中で水干の人が履く草履作りから始まり、段ボールを使った御輿の原寸模型造り、御開扉の時に念仏に合わせる為に繰り返した千本障子の開閉、夜遅くまでリハーサ



檀家総代表 辻 四十一

ルを重ねた御輿行列等々、今までになかったことばかりで大変苦労致しました。二日前からは参詣者全員のための御非時の準備や、棧盛り・串盛りの御供物作りに役員総出で頑張っていました。

小さな失敗はありましたが、大満足な法会を迎えられた事に感謝し、檀徒の更なる発展と結束力を期待したいと考えます。

# 一光三尊佛御開扉 十七年に一度のご勝縁

特集

## 本山での御開扉

平成二十七年四月三日から、本山で一光三尊佛の一年ぶりの御開扉が始まります。本年四月にお参りいただきました方は再度のご縁を、まだの方にはこの機会にぜひお参り下さい。

### 御開扉

平成二十七年四月三日～五月二十八日まで  
一光三尊佛御開扉慶讃法会 四月三日～十日

七時 晨朝・説教

十時 午前法会・お言葉・説教

十三時 午後法会

十四時 特別講演もしくはイベント

三日(金) 高田派鑑学

四日(土) 精神科医

五日(日) 真宗大谷派

六日(月) 日本女子大学教授

七日(火) 高田中・高等学校教諭

八日(水) 一絃琴と和楽器の合奏  
一絃琴正流清壽会会主

十六時 御閉扉  
荒井 眞道 師

清水谷正尊 師

香山 リカ 先生

川村 妙慶 師

永村 眞 先生

松山 智道 師

高田中・高等学校教諭

一絃琴と和楽器の合奏

一絃琴正流清壽会会主

荒井 眞道 師

清水谷正尊 師

香山 リカ 先生

川村 妙慶 師

永村 眞 先生

松山 智道 師

高田中・高等学校教諭

一絃琴と和楽器の合奏

一絃琴正流清壽会会主

荒井 眞道 師

清水谷正尊 師

香山 リカ 先生

### 絵解き

御開扉法会期間中、如来堂におきまして一光三尊佛絵伝の絵解きを行います。

### 問い合わせ先

〒514-0114 津市一身田町2819  
真宗高田派本山専修寺 一光三尊佛御開扉事務局  
TEL059-232-4177



荒井眞道 師



松山智道 師



永村 眞 先生



川村妙慶 師



香山リカ 先生



清水谷正尊 師

## 三尊さま 出開帳

十一月七日～九日

永徳寺(岐阜県安八郡神戸町)

## 私のお寺にお迎えして

前回の出開帳(平成十一年)を終えて次の予定を決定。おりしも七五〇回忌と同時期となる故、同時開催を決め、六年前より諸堂・境内を整備。申込みも最初、法主継承により、慈祥法主殿を迎え、御親教をいただいた。他に女性コーラス、演奏会、などのアトラクションも催し、新趣向も計る。九日(日)の二百五十人が集う稚児行列時、小雨があるも、すべて計画どおりに進行し、もちまき・菓子まきのみ手渡しとなる。近隣より大勢の参詣者あり。他派

にはない三尊佛御開扉のおかげさまと存じます。地元ケーブルテレビ、中日・岐阜新聞、中外日報の取材もあり、賑わしく過ごす三日間でした。他寺の方も出開帳を是非、受けられますようおすすめします。

住職 三原 法雲





「いのち」というものには、形がありませんが、これを、いのちとらといたただけるか否かが大事な問題であります。

「いのち」とは、いろいろな意味あいがありますが、唯一のたのみ、よりどころ、というところで、そこから「命のかぎり」とか、「命がけ」とか、「命からがら」とか、「命あつてのものだね」等々、沢山の言葉が生まれて来ています。では、「浄土真宗」のいのちとはいかなるものでありましようか。

御開山聖人は、阿弥陀佛の御本願を信じ、お念佛申し、

お浄土を願うて、歩ませていただくことである、と教えてくださっています。これは、聖人が、いのちがけの、永き求道ぐどうの中で、法然上人のお導きによって目覚められた救いの大道であります。

このみ教へを、心底にいただいておられる聖人のお書物の中には、「佛恩」「師恩」「釈迦、弥陀の恩」等々、恩という言葉が沢山出て参りますが、きわめつけは「恩徳おんどく讃」

「現生十益げんしょうじゆしゆの益」といって、念佛者の上に、この世においていただける十のご利益りやくの八番目に、「知恩報徳ちおんほうとくの益」とありますが、「恩」ということを大変大事に受けとられ、私たちにその心を教えてくださっています。

こういうところに「いのち」の大事さに目覚められた聖人のおこころがうかがわれ

ます。

今日、人々は、高学歴で物が豊かな生活をさせていただいていのですが、人として一番大事なところが失われつつあります。

本山の、「生活の指針」の中の「みほとけの光を仰ぎ、あらゆるいのちを尊んで慚愧ざんきと歓喜かんぎの心で暮らします」とありますが、我がいのち、こ

うありたいものです。  
(愛知県岡崎市 浄泉寺前住職)

## こんな行事がありました

### ◎第22回法話発表会



9月9日  
緊張しながらも、ご自身の法の味わいをお話いただきました。

### ◎東海地区坊守研修会



9月17日  
名古屋別院にて、秋の研修会。作法と法話の二本立てです。

### ◎第34回 坊守・婦人会



10月20日～21日  
小旅行では真慧上人の墓所（西教寺）にお参りいたしました。

### ◎三重県仏教保育協会合同参拝



9月22日  
園児たちが賑やかに参詣してくれました。「育て仏の子」

### ◎第59回 檀信徒研修会



10月28日  
中興「真慧上人」について、清水谷先生にご教示いただきました。

来年四月までに予定されている  
三尊さまの出開帳

平成二十七年二月八日

(大阪府大阪市中央区上町一丁目)

正覚寺

平成二十七年三月十四日

(三重県松阪市曾原町)

法性寺

平成二十七年三月十五日

(福井県福井市花堂南二丁目)

福井別院

平成二十七年三月二十一日～二十二日

(三重県津市大谷町)

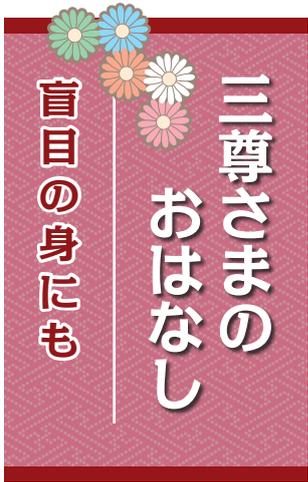
彰見寺

平成二十七年三月二十八～二十九日

(三重県津市乙部)

上宮寺

お近くの方はぜひ参拝のご縁をお結びください。



# 三尊さまのおはなし 盲目の身にも

一志郡木造村西念寺の檀家に、一人の貧しい老女がいました。三尊さまのご開扉法会が盛大につとめられていると聞いて、自分も何とかして参詣し、お身に触れたという念珠を、

浄土の道しるべに授けていただきたいものだと思いつめていました。そこでどうにかやりくりして、やっと三十文ほどのお金ができたので、杖にすがりながら参詣しました。三尊さまの前にお金を捧げて、心をこめて拝礼をすませ、お堂を出ようと

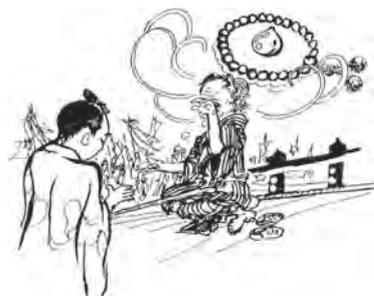
して、念珠をとり扱っている係りの人に、「どうぞ私にも一つお授けください」と頼みますと、「お婆さん、これは冥加金を出して授かるものだよ、お金を出しなさい。」と言います。老女は、女心に、内陣に入つて参拝する者にはみな念珠が授けられるものだと思ひあやまつていたのでした。持つてきた三十文はそっくり捧げてしまつて、もう一文のお金もありません。自分の貧しさがつくづく悲しくなつて、

「このお念珠を浄土へのお導きに授けていただきたいばかりに、こうしてお参りしましたものを……、もう何の望みも消え果ててしまいましたわい。」

と悲しみ嘆いて外に出ました。しばらく歩いていくうち、袖のなかに何か入っているような感じがして重いので、さつと手でさぐつてみ

ますと、これはどうでしょう、さつき三尊さまにそっくりさし上げたはずの三十文が一文も欠けずに入っているではありませんか。おどろいて一部始終を人々に話すと、「なんと尊いことでしょう」とみな感心し合うのでした。

こうして老女は願いのとおり、念珠を授かつて家路につきました。



## 傳燈奉告法会

新しき時代へ法灯をつなげる  
でんとうほうこくほうえ

平成二十八年三月二十五日より三日間

### 寺院名

三重県津市 高田本山

17年に一度「親鸞聖人直拝 善光寺如来」

# 御開扉 一光三尊佛

下野崎寺

平成27年 4月3日・5月28日  
午前7時～午後4時

慶讃法会 4月3日・4月10日  
■午前法会…午前10時  
■午後法会…午後1時

◎特別講演…午後2時  
4月3日◎高田派 蓮立 清水谷 正尊師  
4日◎ 藤 村 眞 山 山 力 先生  
5日◎ 真宗大谷派 齋藤 川村 妙慶師  
6日◎ 日本女子大学 水村 眞光先生  
7日◎ 龍谷中・高野学院 松山 智道師

◎一絃琴と和楽器の合奏  
4月8日◎ 午後2時～午後3時  
一絃琴正流 清壽会  
会主 荒井 眞道師

## 真宗高田派本山 専修寺

三重県津市一身田町2819 TEL 059-232-4171 FAX 059-232-1414  
本山だより発行所 宗務院 発行部数 35,000部

<http://www.senjuji.or.jp/>

高田本山  検索